

町田市議会議員・納税者主権

吉田つとむ

良識ある保守主義を目指す

町田市議会

〒194-8520

東京都町田市

森野 2-2-2 2

☎042-724-2171

「保守の会」派室

自宅042-795-7361



震災の厚真町・むかわ町

またしても震度7の地震が発生しました。今回の被災地も一人で訪れ、どのような災害が起きているかを直接見て回りました。あくまで、個人の旅行と言う形式であり、自由にコースを設定し、事前のアポイント無しスケジュールでした。もとより、公費は1円も使っていません。



道路は通行できる区間も、鉄板の上を通る

新千歳空港からレンタカーに乗り、安平町から震源地の厚真町に至りました。山崩れや土手が大きく崩れており、現在も交通止めの区間が目立ちました。



倒壊は免れても、全壊した家屋も多数ある

日高方面の「むかわ町」では市街地で倒壊した建物が目立ちました。まだ、住宅のがれきの撤去は進んでいませんでした。

苫東厚真発電所と周辺状況

今回の震災では、停電による二次被害が多く伝えられました。長期間の停電で個人生活が大きな制約を受けることはもちろん、営業停止になった商業施設も数多くありました。酪農家では搾乳ができなくなって難渋されたニュースがありました。



ブラックアウトの原因を作った、苫東厚真発電所(石炭火力)の玄関側からの撮影です。周囲には、国内で最大の面積を占める広大な工業団地があり、まだ未開発のスペースが広がっています。

他方で、日高方面の平地は牧草地が大半を占め、馬の放牧場が随所にありました。



日高の放牧場は、競走馬ばかりでした

★ 政党無所属・市議会は保守の会 mail : yoshidaben@gmail.comURL <http://j-expert.jp/> 動画 <http://jp.youtube.com/yoshidaben>

メール送信

編集者 〒194-0011 町田市成瀬が丘 1-14-12 サンホワイトE103-13 吉田つとむ(自宅)

町田市議会議員 **3回連続トップ当選**

吉田つとむ

取材・記事作成・総合編集



左上はブログ
右上は新規の
ビジュアルサイト



インターン生募集中

萱野茂二風谷アイヌ資料館(北海道)の見学で学んだこと

アイヌ民族で、ただ一人国会議員となった萱野茂さんが、数十年間にわたりアイヌの民俗が表現された品々を収集し、1121点が国の重要有形民俗文化財に指定されています。



萱野茂さんは、若い時にアイヌの民芸品の販売、製作に従事し、美術の専門教育を受けることなく、その後、アイヌの伝統文化の民具、民芸品の収集に務め、広い講堂と展示場を持った資料館を地元の平取町二風谷に作って、今日までご子息などが運営を続けられていました。萱野茂さんの収集、復元した品々の大半は、「平取町立二風谷アイヌ文化資料館」に提供され、その両資料館が並立して、アイヌ文化を伝承しています。

また、萱野茂さんは、アイヌ差別の象徴である「北海道旧土人保護法(明治32年法律第27号)」の廃止、「アイヌ新法」の制定の中心人物としても活躍されました。萱野さんは、日本が大和民族以外にも複数の民族国家であることを明らかにしましたが、現在まで「日本が単一民族で構成されている」という俗説は払しょくされていません。

IT化のパイオニア登別市議会を再訪問

全国で最も早く議会のペーパーレス化を推進していた北海道の登別市議会に、町田市議会(当時、長村敏明議長)の議会運営委員会(当時、吉田つとむが議運委員長)で15年ほど前に訪れて、会議でパソコン持ち込みを積極的に推進する方式を学び、町田市議会でも導入しようと図りましたが、その実現には長期間の審議を要しました。町田市議会では、暫定的に「持ち込み可」を毎年繰り返して更新手続きしていましたが、iPadの正式導入によって、ようやく並行して完全持ち込み方式になっています。

今回、北海道を訪れた際、この登別市議会に久しぶりに立ち寄りました。市議会は閉会中でしたが、お礼を込めて本会議場の発言席に着き、撮影をお願いしました。



その登別市議会の本会議は、質問する議員が議員席の最前列にある発言席に座り、質問を市長に向かって行う対面式と言われるやり方で行っています。*今回の北海道の往復、訪問先は全て個人の旅行扱いです。

★ 吉田つとむのインターンシップは1998年に開始、町田市役所のインターンシップ受け入れや、中学生の職場体験に先行実施

★ 大学生・院生を対象に、議員活動に同行することを通じて社会勉強を支援しています。

インターン希望の方、関心がある方は、ホームページの掲載要旨をご覧の上、ご連絡ください。